

ヨコミネ式カリキュラム

独自教材による自学自習で読み書き計算を進めていきます。
理解力・思考力・洞察力・記憶力が身につく教材です。



ヨコミネ式 40 年の実績！！

読み・書き・計算・体操・音楽で子どもの能力はみるみる伸びます。

読み

文字を覚えるまでは“読み聞かせ”が必要です。本好きにするための仕掛けとして大事なものは、“子どもにとって簡単な本から読ませる”ことです。文字カードの後に簡単な本で拾い読みをしていきます。ひとりひとりのレベルに合わせて、ステップアップしていく工夫で『本好き』になります。

書き

「読み」とともに、大切なのが「書き」です。「あいうえお」の五十音順で書き取りをしても、勉強が嫌いになるだけです。

『ヨコミネ式 95 音』のかんたんな横棒「一」から書き始めて、子どもが書きやすい文字へ順番に進んでいきます。これも、お絵かき遊びの延長です。ヨコミネ式教材は、夢中に取り組んでいける仕掛けがあります。

計算

3 歳になる前に、1 から 10 までの数字を覚えられるようにします。計算の教材で数字をなぞることから始めていき、数字の読み方と書き方を覚えながら計算へとステップアップしていきます。教材を進めていくながら、そろばんでさらに計算力、集中力、記憶力、注意深く観察する力、情報を処理する力などを身につけていきます。

体操

運動神経をつかさどるのは小脳。小脳は6歳までに100パーセントできあがるといわれています。つまり、運動神経の良し悪しは6歳までに決まってしまうのです。

運動神経は遊びの中だけでは十分、育ちません。まして野山を駆けめぐる環境の乏しい都会の子どもたちは、遊びすら家の中なのですから、運動神経の育ちようがありません。

子どもたちの運動神経を伸ばすには体操が必要です。ストレッチ、ブリッジ、逆立ち歩き、マット運動、跳び箱、レスリング（男子のみ）などの体操を、バランスよく行うことで、自然に運動神経が発達します。

シンプルな動作ですが、これから、子ども達が体験するであろう様々なスポーツの「基本」となる体の動きを作っていきます。

また、将来、スポーツ選手にならないとしても、「体の力」は大切です。「体の力」で学習も、心の育ちも、より効果的に身に付けることができます。

音楽

乳幼児はとても耳がいい。ですから0～2歳児までには、生活の一部として音楽を与えます。音楽に馴染ませて、耳をより発達させるのです。そして3歳の夏になったら、ひとりひとりにピアノ力を与えます。簡単な音階を教えて、基礎練習などはさせずに、即、曲を弾かせてみます。

基礎練習ほど、つまらないものはありません。つまらないからやりたくなくなる。それを無理やりさせようと思うと、子ども達はますますそこから離れていきます。音楽で何がいちばん楽しいか？実際に唄ったり、楽器を奏でたりすることが、何より楽しいはずなのです。

子どもたちが1曲通して弾けるようになると、練習に熱が入ります。

できることはおもしろい
おもしろいから練習する
練習すると上手になる
上手になると大好きになる、
そして次の段階に行きたくなる

才能開花の法則で、音楽に磨きをかけていきます。

※登壇では、鍵盤ハーモニカのことを「ピアノ力」と呼んでいます。

そろばんの効果！

そろばんには次のような効果があります。

- ・ 右脳を活性化させ、イメージ力、集中力、情報を処理する力などが身につく。
- ・ 自分のペースで学習でき、算数に自信がつく。
- ・ 集中力と暗算力がアップする。

「ヨコミネ式珠算」では玉の数え方、動かし方といった方法が脳を刺激し自ら学習するスタイルに考えられています。

教材では、たし算、ひき算、かけ算、わり算、暗算、少数のやり方も自学自習できるように解説しています。工夫された問題で見やすく、わかりやすく細かいステップに分けて順を追ってできていくので、自宅学習もスムーズに進められます。

- ・ 復習問題や検定問題も充実
- ステップごとの「基礎」、章末の「検定問題」は、達成感を持って取り組むことができます。また、全国珠算検定に向けた力試しに最適です。

宅習「家庭学習のすすめ」

毎日の学習は、将来子どもたちが、自立するための基礎となる大切なものです。

アカデミーでも学習内容が定着するように日々努力していますが、家庭と連携することで、より確かな学力が定着するものと考えます。

< 子どもがやる気になる魔法の言葉をかけましょう >

- ・ 丁寧にかけたね
- ・ この問題がとけるのはすごいね
- ・ 集中してがんばったね
- ・ 前より上手になったね

< 宅習をはじめるには！ >

- ・ 生活習慣の見直し（食事・睡眠）
- ・ できるだけ音のない生活を心がける
- ・ できるだけ決まった時間にはじめられるよう工夫しましょう
- ・ 「毎日」習慣にしていきましょう。

小学校にあがる低学年までは、「とにかく外でたくさん遊ばせたい！」と考えている方も多いと思います。遊びの中から学べることは非常に貴重なことだから、だと考えているからです。ただし、高学年になった反抗期に家庭学習に取り組めるようになるか・・・という、そうではありません。

「ひとりで学習することの楽しさを知ることができるのはもう少し先のこと。」先を見据え、しっかり自分のための学習ができるようになるまで、私達大人の責任があります。

『3つの力』を軸に、子どもたちが生まれ持っている『可能性』を最大限に引き出すための教育法・・・それが『ヨコミネ式』です。

人にやさしく
できない子はいません

心の力

自ら学ぶ力を育てる

学ぶ力

運動能力のベースを育てる

体の力

ヨコミネ式教育法の究極の目的は『自立』です。自立とは、『自ら考え、自ら判断し、自ら行動・実践すること』です。

子どものやる気を起こし、素晴らしい才能を開花させ、『読み・書き・計算・体操・音楽』を通して『心の力』・『学ぶ力』・『体の力』の3つの力を身につけさせ、『可能性』を最大限に引き出します。